

産婦人科ニュース



新学期、新入の時期と、さわやかな季節になりました。

今月は「産後ケア施設の最近の状況」と「無痛分娩の実態について」をご紹介します。

いずれも社会的に話題になっているテーマですので、ご参考になればと思います。

産後ケア施設のいま

平成 29 年 4 月に法定化された「子育て世代包括 支援センター(母子健康包括支援センター)」の妊娠・出産包括支援事業(産前・産後サポート事業及び産後ケア事業)についての実態を、<一般社団法人 出産・子育て包括支援推進機構>の産後ケアセミナーでの講演内容や、千葉県浦安市や山梨県の取り組みを中心にをご紹介します。

産後ケアセンターには3つのパターンがある。

「産後ケアセンターは、単に美容などのケアやマッサージのみを行うものではなく、産後の女性を包括的に支援する場所とされ、主に以下の3つのパターンに分類されます」

宿泊型 (原則7日以内の利用)	4,000円~10,000円/1泊
アウトリーチ型 (訪問型)	500円~2,000円/1回
デイサービス型	1,000円~4,000円/1日

「第一号は平成19年にできた世田谷区の産後ケアセンターで、すでに稼働率は95%です。世田谷区民であれば費用の9割を区が負担するため、自己負担は1泊2日で6,000円、1週間で21,000円とリーズナブルな価格です。施設を利用した人は、「休養がとれた」「受容される体験をした」「授乳がうまくいった」という声があげられ、さらに人との交流の場になるなど、十分な支援ができていているという結果になっています。現在、世田谷区のほか浦安市、和光市、江東区、山梨県などでも市区町村の動きにより、同様の施設が立ち上がっています」

東邦大学看護学部 教授 福島富士子氏
<一般社団法人 出産・子育て包括支援推進機構>産後ケアセミナー講演より

千葉県浦安市の産後ケア施設

千葉県内には現在19の市に宿泊型産後ケア施設が設けられ、浦安市には宿泊型、日帰り型とあわせて5つの施設があります。そのうち宿泊型は東京ベイ・浦安市川医療センター、順天堂大学医学部附属浦安病院の2箇所。他にも浦安市では、個別型の日帰り型産後ケアをホテルエミオン東京ベイで、集団型の日帰り型産後ケアをTomoru助産院(佐野産婦人科)で実施しています。

千葉県浦安市 順天堂大学医学部附属浦安病院

「宿泊型産後ケア」のケース

「順天堂大学医学部附属浦安病院(以下浦安病院)の利用料金は、浦安市民であれば1泊2日で6,000円(一般は70,000円)で、市で発行されている子育て支援チケットも利用可能です。

平成28年3月から100組弱の利用者があり、【非常に満足】が85%、【満足】が15%。浦安病院が地域周産期母子医療センターであることから、NICU、GCUを退院した母子もそのまま産後ケアを利用することで時間をかけて育児習得ができ、育児不安の軽減につながっています。また、産後ケアセンターのスタッフである助産師も知識・技術を発揮でき、やりがいを感じています」

順天堂大学医学部附属浦安病院院長 吉田幸洋氏
<一般社団法人 出産・子育て包括支援推進機構>産後ケアセミナー講演より

山梨県笛吹市 山梨県内27市区町村の産後ケア事業を一手に受ける

「産前産後ケアセンター ママの里」のケース

平成28年1月にオープンした施設で、産後4カ月までの母子が宿泊しながら助産師のケアを365日24時間受けられます。また「山梨県産前産後電話相談」という24時間対応の電話相談サービスも兼ね備えています。

1泊2食で自費の場合33,900円ですが、山梨県産後ケア事業推進委員会(山梨県と県内の27市区町村の共同体)からの受託事業なので、補助金で6,100円になります。県外からの利用者もいるとのこと。

千葉県浦安市 オリエンタルホテル 東京ベイ

「日帰り型産後ケア」のケース

2015年6月から個別型の日帰り型産後ケアを、オリエンタルホテル東京ベイで実施。

「浦安市在住の産後のママと生後120日未満の赤ちゃんを対象に、ホテルの客室で助産師がマンツーマンでケアを行っています。育児相談・授乳相談・母体へのケア・昼寝・入浴など、当日のコンサルティングをもとにオーダーメイドのケアを提供しています。利用時間は、午前11時~午後3時までの4時間で、1回の利用料金は4,000円です。

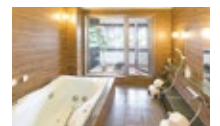
利用可能な期間を生後120日未満に限定していますが、ちょうどママが孤独や孤立を感じやすい時期と重なるために“話を聞いてもらえて嬉しかった”“お出かけのきっかけになる”と喜ばれています。事業開始当初は初産婦さんの利用が多かったのですが、現在では経産婦さんの利用も増え、半々になっています」

(産前産後ケア推進協会 古谷真紀氏(助産師))



内容はベビーマッサージといった教室の開催や、母乳ケアについての個別の相談。日帰りのケアも対応しています。他にも妊婦さん向けの個別相談や授乳教室・夫婦力アップ講座・孫育て講座など幅広くやっています。電話相談は1日で5、6件。体制は助産師が14名で常勤はセンター長と副センター長の2名。

「具体的な指導はもちろん、助産師さんたちのママに寄り添う心のこもったケアが評判です」(山梨県 産前産後ケアセンターママの里センター長 榊原まゆみ氏(助産師))



妊婦さんに聞いてみました

「無痛分娩をどう思う？」

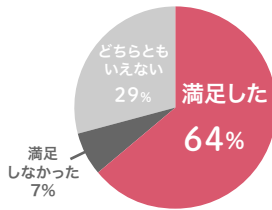
今年2月に厚生労働省の研究班が、安全確保のための体制整備に取り組む提言案を発表しました。無痛分娩がおこなえる施設数はまだまだ少ない現状ですが、厚生省・医療施設・医師やスタッフそれぞれの無痛分娩における安全性への意識が高まってきています。そこで、妊婦さんの声を調査しました。

Q. 無痛分娩を経験したことはありますか？



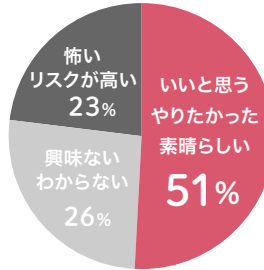
大体6人に1人が無痛分娩をおこなっているという結果になりました。
日本産婦人科医学会の調査結果によると2016年時点での実施率は6.1%なので、無痛分娩をおこなった人は2年で約10%増えたということになります。

Q. 無痛分娩をおこなって、満足しましたか？



事故のニュースの影響は多少あるものの、選択肢のひとつとして自然に受け入れられているようです。
しかし安全性に不安を感じている人がまだ多くいるのも事実なようです。

Q. 無痛分娩についてどう思いますか？



肯定的な意見の中の半数以上が「いいと思う」「やりたかった」「素晴らしい」。ほかには「やりたかったけどかかりつけの産科では選べなかった」「費用が高かったので諦めた」といった回答も。
否定派の回答366件中、3分の1以上が「怖い」という意見が占めていました。ほかには「メリットがないように思う」「リスクが高い」など。やはり報道の影響で、安全面での不安が大きくなっているということが分かります。

調査概要

調査対象：株式会社ベビーカレンダーが企画・運営している「ファーストプレゼント」「ベビーカレンダー アプリ」によるアンケートにご応募のあった産院・クリニック出産経験者
調査期間：2018年2月20日～2018年2月23日 調査件数：1,254件

先月の主なニュース

- ✓ 妊産婦「知りたい情報」、産科医「知るべき情報」大きな差 (読売新聞 3/1)
妊産婦が知っておくべき妊娠・出産情報について、産科医と当事者の妊産婦の間に食い違いがあることが、リクルートマーケティングパートナーズが日本産科婦人科学会の協力のもと…
- ✓ 産婦人科の専攻医は439人、2017年度比48人増 (m3.com 3/4)
日本産科婦人科学会は3月3日、定例記者会見を開き、2018年度の新専門医制度の1次、2次登録者数は、計439人になったことを公表した。
- ✓ 無痛分娩「リスク差ない」厚労省研究班が見解示す (日本経済新聞 3/4)
無痛分娩の実態把握のため、厚生労働省が設置した研究班が4日、普通のお産と無痛分娩のリスクについて「大きな目で数字を見た感じでは、そんなに差がなさそうだと言える」との見方…
- ✓ 妊婦と新生児ケア理解深める 産婦人科スタッフが研究発表 (福島民友 3/11)
第27回福島県産婦人科・メディカル研究発表会は10日、福島市のホテル辰巳屋で開かれ、産婦人科のスタッフが県内の各病院で実践されている工夫や取り組みに理解を深めた。
- ✓ 仕事と不妊治療、両立難しく「退職」16% 厚労省調査 (日本経済新聞 3/16)
働きながら不妊治療をした人のうち16%が両立できず退職していたことが16日、厚生労働省の初の実態調査で分かった。両立している人も9割近くが難しさを感じており、通院回数…
- ✓ 「夜泣き、授乳で眠れない…」市が産後ケア事業 医療機関で乳児預かり母親の休息取得を支援 (河北新報 3/20)
赤ちゃんの夜泣きなどで眠れない出産直後の母親を支えようと、宮城県岩沼市は5月、医療機関が乳児を預かっている間に休息を取ってもらった産後ケア事業を始める。
- ✓ HPVワクチン、学会が「接種は必要」 (読売新聞 3/24)
日本産科婦人科学会は3月12日、公式サイトで一般向けの情報ページ「子宮頸がんとHPVワクチンに関する正しい理解のために」を公開した。

ベビーカレンダー今月のおすすめ

NEW

ベビーパッド かんたん診察予約システム

かんたん

低価格

産婦人科専用



【月間予約管理】



【本日の診察待ち】



【お呼び出し画面】

ベビーカレンダーだからできる、
産婦人科に特化した診察予約システム。

ベビーカレンダーはこれまで全国450院以上の産院様とお付き合いさせていただいてきました。その中で寄せられる既存の診察予約システムに関するお悩みや不満……そういった現場の声を直接伺い、お悩みを解決するために開発したのが“ベビーパッド かんたん診察予約システム”です！

現在承り中！お気軽にお問い合わせください